



7 尾田家 (国指定重要有形民俗文化財) 昭和52年移築復元・98㎡



標高820mの山中に建てられた永久出作り小屋です。大部分が家族の手によって造り上げたため、技術的にも素朴な建物であり、出作りの原初的形態を今日に伝えている根柢き形式です。厳しい自然条件に耐えてきた、昔ながらの山国の暮らしが偲べれます。



●居間・座敷



●展示資料

ご利用のご案内

開館時間／午前9時から午後4時30分まで
(入館は午後4時まで)

休館日／毎週木曜日・祝日の翌日
年末年始(12月29日～1月3日)

入館料／一般	250円
65歳以上	200円
団体(20名以上)	200円
高校生以下	無料

交通のご案内

●JRをご利用の場合

- 東京——金沢(4時間30分)
- 名古屋——金沢(3時間)
- 大阪——金沢(3時間)
- 京都——金沢(2時間30分)

●金沢からは下記の交通便があります

- JR金沢駅から北鉄バス・白峰行
- 野町駅から北鉄・電車(石川経線)で鶴来へ、鶴来駅より北鉄バス白峰行。

●マイカーご利用の場合

- 大阪より……………約4時間
- 金沢より……………約1時間10分
- 京都より……………約3時間30分
- 福井より……………約1時間10分
- 名古屋より……………約3時間30分



石川県立白山ろく民俗資料館

〒920-2501 石川県石川郡白峰村宇白峰30
TEL・FAX0761(98)2665



【館内案内図】それぞれの建物は中に入って見学できます。



1 管理棟 昭和52年建築・310㎡



本館は昭和54年7月に開館し、現在では国指定重要有形民俗文化財992点を含む資料総数12,732点を保存展示しています。この管理棟では、白山信仰・近世の白山ろく・雑煙と出作り・人の一生・民俗芸能などに関する資料を展示しています。



●群列人形・報恩講料理



●白山信仰

2 杉原家 (県指定有形文化財) 昭和53年移築復元・1,109㎡

嶋村における酒屋4軒の内の一軒で、天領時代には庄屋・組頭も勤めた旧家です。1864年に建てられ、江戸中期から明治時代には使用人を30人余りかかえ、山仕事や農耕・養蚕を行っていました。家族や客専用の上の居間と使用人専用の下の居間があるなど、白山ろくの家業の生活ぶりがうかがえ、この地方の特色がよく出ています。



●上の居間・下の居間



●応接間・中の間



●2階展示資料



●2階展示資料

1年を通しての野外観察

見学歩道沿いには、白山ろくで自生している樹木を植樹した有用樹見本園があり、出作り農民がかに自然の樹木を有効に利用した大切にきたかを知ることでできます。

山菜見本園では、出作り農民が利用した山菜を知ることができます。

日曜・祝日には「杉原家」のイロリに火を入れ、イロリ端で湯茶の接待を行っています。(冬期は除く)

3 織田家 (県指定有形文化財) 昭和56年移築復元・708㎡



代々商業・製糸業などを営み、白峰の産業発展に貢献した旧家です。商家にふさわしく表側に店舗・土間・居間を取り、明治大正時代の商家の様子がうかがえます。また、薪などを外から直接2階へ運び込むための階段があるのが特徴です。



●座敷



●店舗

4 長坂家 (県指定有形民俗文化財) 昭和62年移築復元・237㎡



●あまほし



●2階展示資料

5 小倉家 (国指定重要文化財) 昭和52年移築復元・283㎡



江戸時代中期頃につくられたもので、土壁造り栗小羽板葺き、登り梁を用いた素朴な手工です。耐雪のために根曲がり材を有効に利用してあることなど、厳しい風土に生きた昔の人々の知恵を随所に見ることができ、また当時の家庭生活をそのまま再現してあります。



●居間



●展示資料

6 表家 (県指定民俗文化財) 昭和58年移築復元・163㎡



●居間・広間

外観は通常の民家と異なりませんが、家道場なので2階正面妻側の窓の外に半鐘と板木を掛けてあります。寺院的要素の強い家道場として、山村における真宗信仰への原初形態を伝え、民家としての生活と、寺としての行事が営まれた様子がうかがえます。

出作り地の常畑 (キャーチ)



●ヒエ



●アワ

出作り地の栽培作物の中で主食となったのはヒエやアワでした。特にヒエはコメに代わる大切な地位を占めていました。この常畑ではヒエ・アワ以外にもカマン(シコクヒエ)やキビなどの穀物を現在でも実際に栽培しています。

5月

- 常畑耕し、種まき
- オハル染体験 (～10月・随時)

要予約 参加費350円
定員50名まで



●オハル染

- わら細工体験 (～10月・随時)

要予約
参加費200円
定員40名まで



●わら細工



●脱穀

8月

- 養蚕伝承活動 (上旬～中旬)
- 昔ながらの方法で実際に蚕を飼育
養蚕関係用具の展示



10月

- 常畑の穀物収穫・乾燥、脱穀作業
- 特別展

11月

- カマシイロコ試食会 (11月3日)
- 出作り地の補助食「カマシイロコ」の試食
- 報恩講料理会食の集い (上旬)
- 報恩講料理 (下旬～12月上旬)



●報恩講料理

2月

- 冬の出作り生活体験 (中旬)
- 出作り地の穀物料理、ソリ、カンジキ、昔の遊び等
要予約、定員有、要参加費